

光の美術館

〈設計趣旨〉

袋井市は子育て・自然を通じた交流・健康づくりに力を入れている。
美術作品を通じた交流から私たちの実際の交流へと深まっていくような
美術館を作りたいと思った。そこで光を通じた交流の場 光の美術館を設計した。

〈設計データ〉

延床面積 : 1223m² (1階: 1227m²・2階96m²)

建築面積 : 1227m²

構造形式 : RC+木造

階数 : 地上2階

主な仕上げ : 漆喰

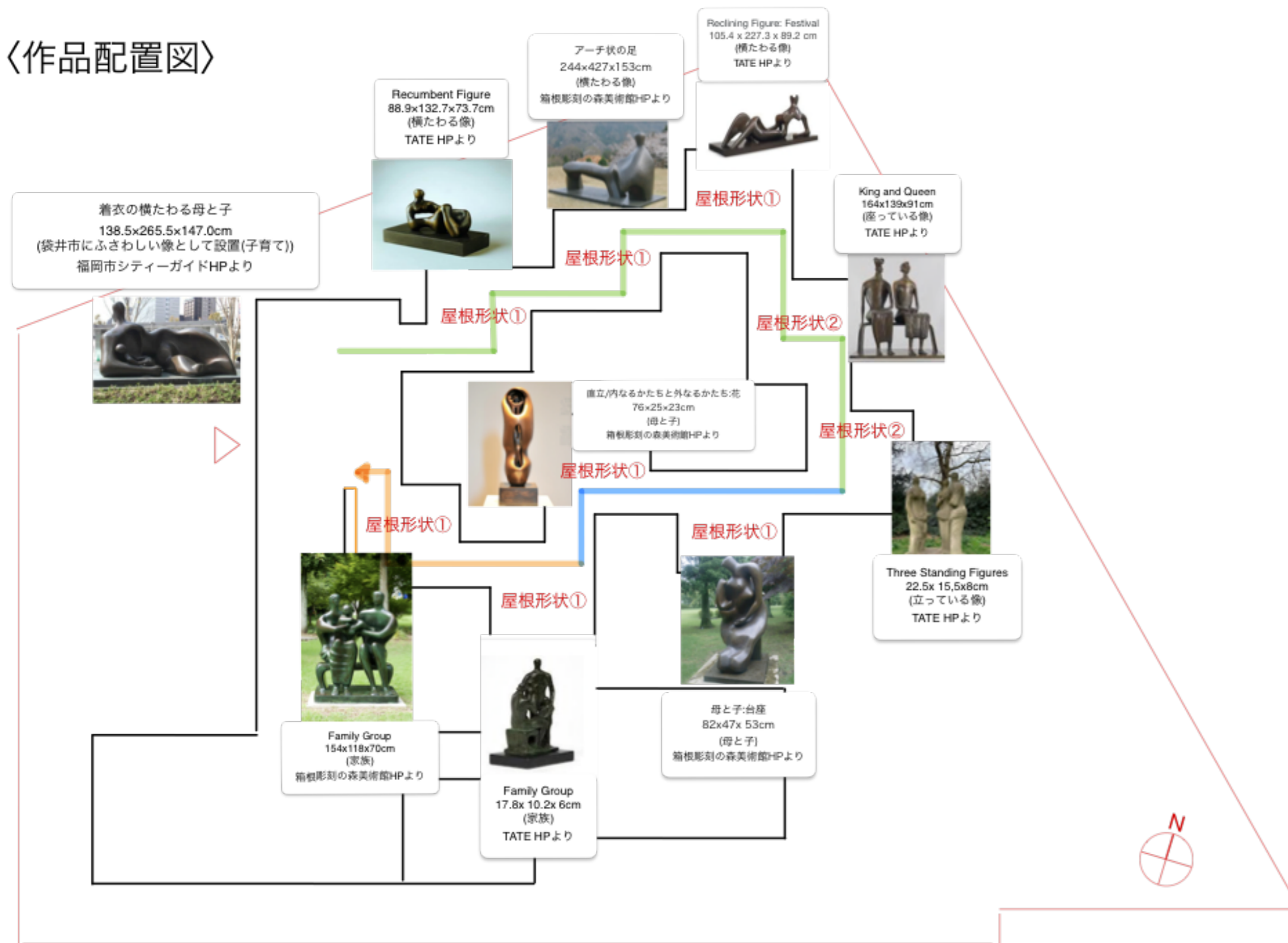
作家 / 作品 : ヘンリームーア / 横たわる像+母と子+家族の像

〈作品の展示〉

横たわる・座る・立つ像 → 母と子 → 家族の像 = 少人数 → 複数人

▷ 交流が深まる流れ

〈作品配置図〉

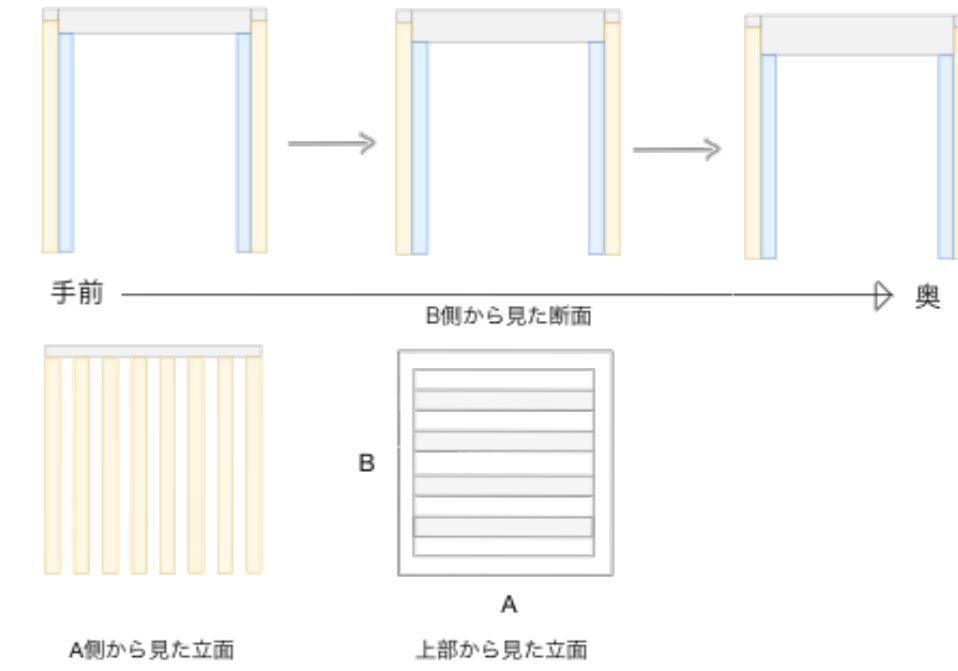
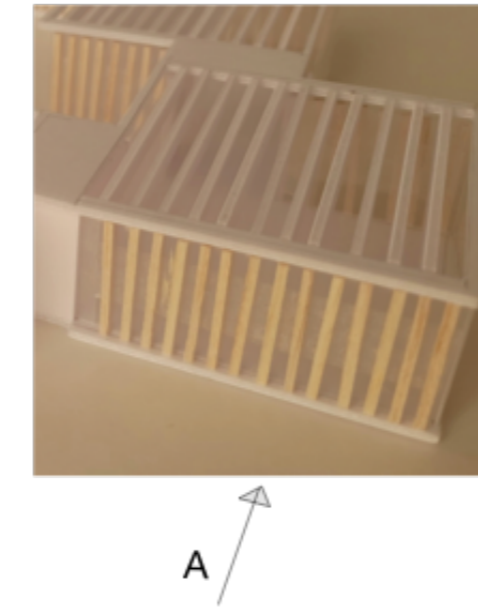


光の効果を利用した空間の表現 (常設展示室)

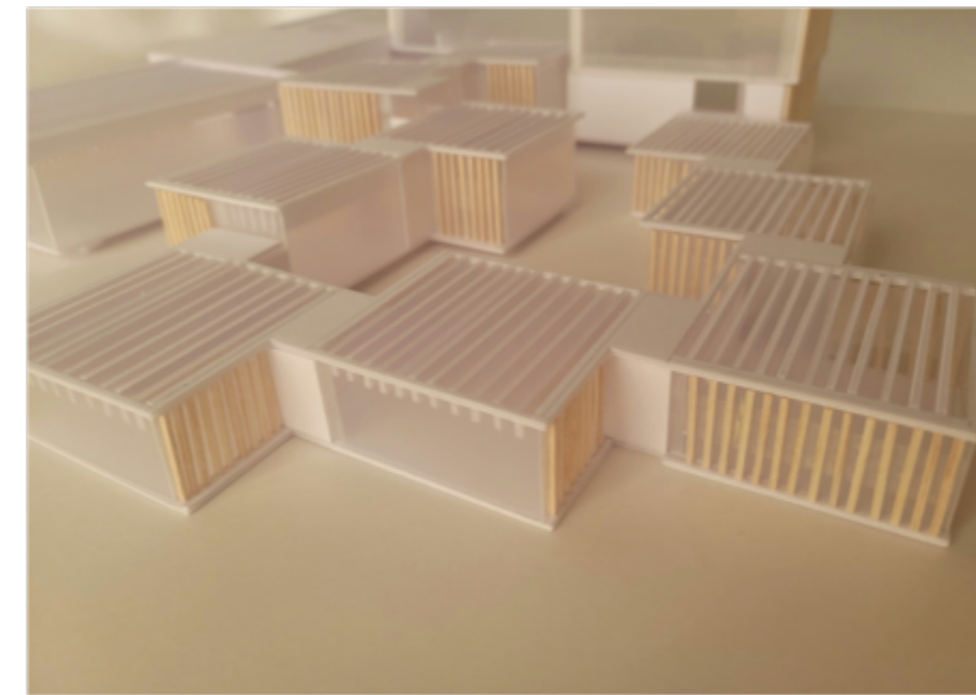
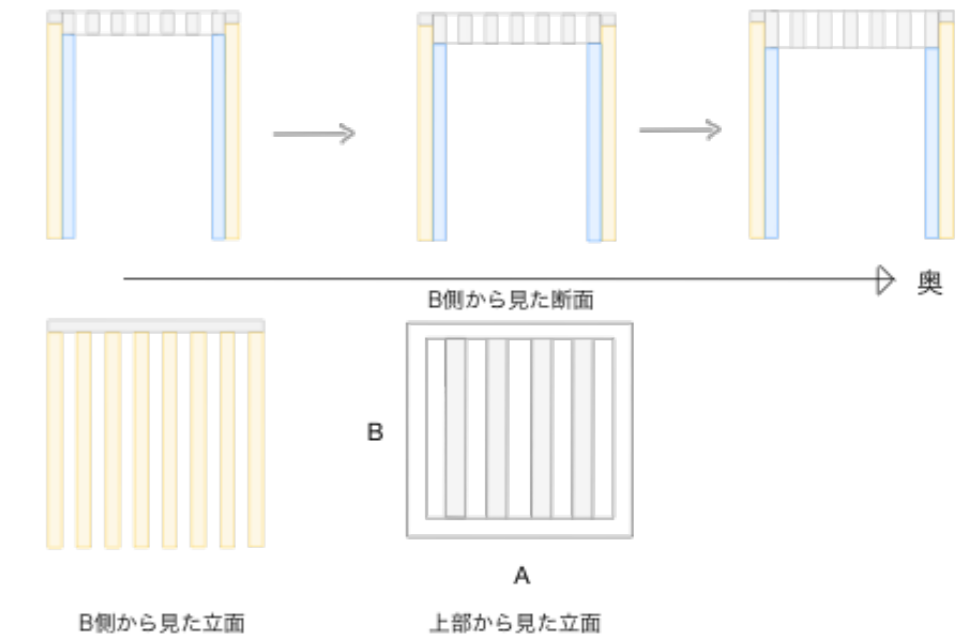
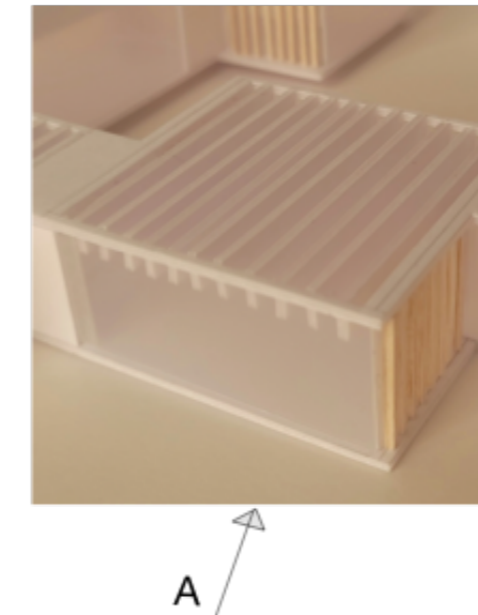
企画展示室 屋根形状 スリットの高さで展示室の高さの関係による空間表現

屋根形状①

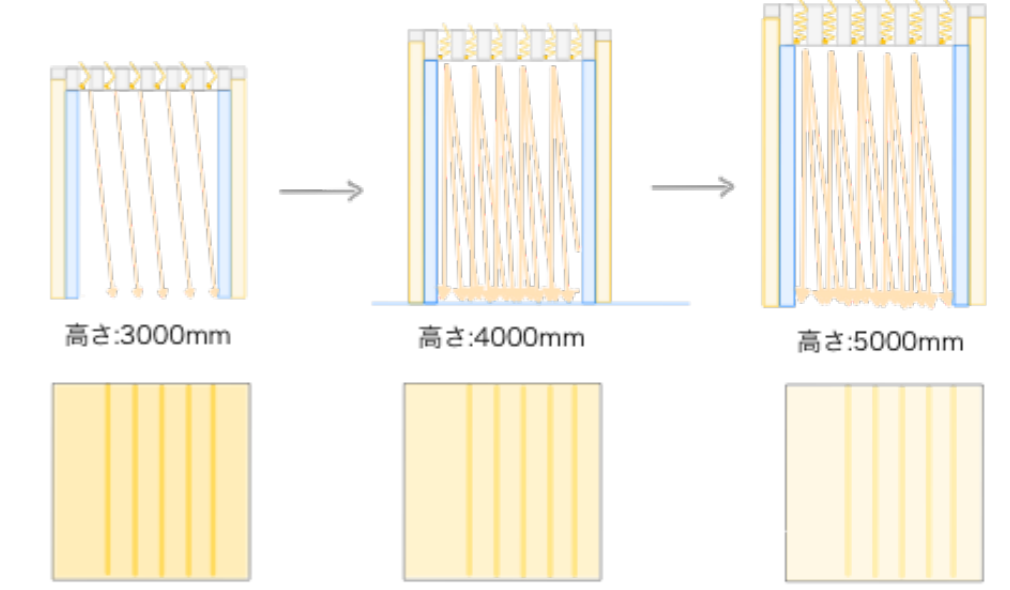
模式図



屋根形状②



スリット状の屋根 スリットの厚みと幅



展示空間の高さ段階と作品との関係性

地面の自然が目線に近づく → 彫刻作品の背景自然が入りやすくなる = 自然との距離を近づける
地面から下ろし上げていく段階は作品の交流の深まりに応じている。

